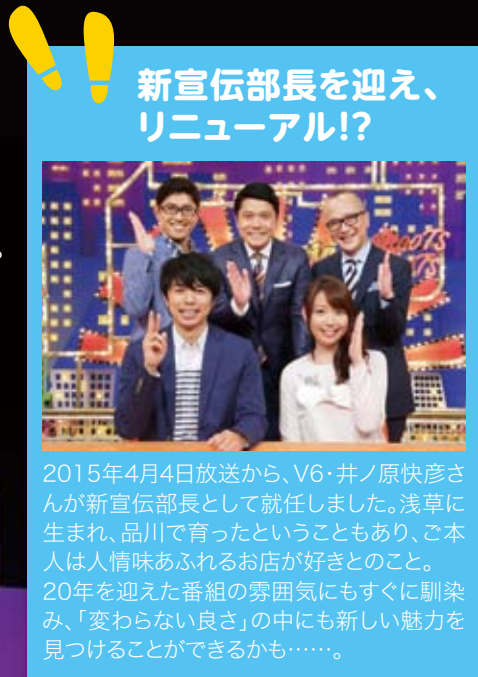


特集

変わらない良さを守り続ける 「出沒！アド街ック天国」の魅力再発掘

2015年3月7日放送で記念すべき1000回放送を迎えた「出沒！アド街ック天国」。20年という長い年月を経て、多くの方々に愛されてきた番組です。様々な番組関係者からの証言をもとに、その魅力について聴いてみました。



新宣伝部長を迎え、 リニューアル!?

2015年4月4日放送から、V6・井ノ原快彦さんが新宣伝部長として就任しました。浅草に生まれ、品川で育ったということもあり、ご本人は人情味あふれるお店が好きとのこと。20年を迎えた番組の雰囲気にもすぐに馴染み、「変わらない良さ」の中にも新しい魅力を見つけることができるかも……。



番組のこんなところもリニューアル

今年4月から、セット、番組ロゴ、タイトルCGをリニューアルしました。リニューアルとはいえ世界観は全く変えていません。めざしているのは、「気付かれない変化」。そういえばそうだけ？ぐらいの変化が、20年以上続いている長寿の秘訣のひとつなのです。

番組スタッフに聴くアド街の魅力

3代目秘書

目に見える良さだけじゃない 街に生きる人の温かみを伝えたい！！

「アド街」は温もりあふれるスタジオから

東京生まれ東京育ちの私は、子供の頃からよく「アド街」を見ていました。自分の地元でも知らないスポットが取り上げられることが多く、「知らなかった、今度行ってみよう」と思い実際に出かけたこともしばしば。そんな番組ですから、縁あって出演が決定し、初めてセットに立った時はとても不思議な感覚を味わいました。「私がここにいてもいいのかな」とさえ思ったほどです。歴代の先輩秘書からバトンを受け継ぐプレッシャーも大きく、とても緊張していました。そんな私に対して最初に声をかけてくださったのが、愛川欽也さん。「そのまま、何を言ってもいいよ」という一言の温かさは、今でも忘れられません。ほかの出演者やスタッフの皆さんも、とても温かく迎え入れてくださったので、気負いが抜けて自然と番組に溶け込むことができたと思っています。

その時代、その街に生きる人の“顔”を残したい

「アド街」では、登場された方々を継続的に追いかけていくことがあります。たとえばかつての野球少年が今ではプロ野球選手として活躍していたり、お店が世代交代していたりといったドラマも。1000回放送では、現役を退き柔和な表情を浮かべる先代と、後継ぎとしての凛々しさを感じさせるお孫さんも登場しました。そこにあったのは、「アド街」が放送されてきた時間とともに成長し、変化してきた人たちの姿。「こういう人たちが街をつくっているんだ」と、改めて感じました。土地の名物や穴場スポットだけでなく、さらに一歩踏み込み、そこに暮らす人々の温もりがにじむ“街の

顔”をきちんと映し出すことこそ、「アド街」ならではの魅力ですよね。その時代、その街に生きる人たちを見つめ、表情や言葉を伝えていく番組であり続けたいと願っています。

新宣伝部長を迎え、新しいチャレンジも

「アド街」を支えているのは、数か月にも及ぶスタッフの丁寧な取材と撮影。彼らの思いをくみ、秘書として番組をサポートしたいと思っています。VTRの内容をより引き立てる情報をスパイスとして加えるのはもちろん、話が脱線しかけた時には「はい、次に行きますよ!」と、ピシッと仕切る優秀な秘書をめざしたいですね。

愛川さんは番組を卒業なさる際に、「お前なら誰の隣でも大丈夫」と励ましてくださいました。その言葉を胸に、これからは新宣伝部長の井ノ原快彦さんと番組を支えていきたいですね。新宣伝部長は気さくで温かく、まさに「アド街」のようなお人柄。愛川さんが築き上げてこられた番組の良さはそのままに、たとえばスタジオを飛び出してみたいといった新しいことにもチャレンジしてみたいですね。愛川さんのこれまでのご功勞に感謝申し上げるとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

株式会社テレビ東京
編成局 アナウンス部

須黒 清華



プロデューサー

街と人の魅力を再発見し 明日をちょっと変える番組に !!

皆が知らない街を魅力的に取り上げる

どの街を取り上げるかを決める「街決め」は、番組づくりの肝です。“話題の街を取り上げる”というマスメディアの定石にとらわれず、「アド街」では意外と知られていない街の魅力を上げます。「北赤羽」や「京成高砂」などは、まさに「アド街」ならではでしょう(笑)。トレンドを追うよりも、誰もが共感できる懐かしさや失われた価値観などにスポットを当て、レトロ感を意識した切り口などで街の魅力を伝える番組制作を意識しています。

たとえば、おじいちゃんが一人で切り盛りしている下町の床屋さん。昔ながらのたたずまいで、洗髪台まで歩いて移動しないとけなかつたりします。それでも僕は、その街で何十年も愛され続けてきたおじいちゃんに魅力を感じ、尊敬の念を持つでしょう。その感じを表し、それぞれの街が持つ真の魅力を再び見直そうというスタンスが、僕らの番組づくりです。

日常の価値を再発見すれば 明日は少し楽しくなる

「街とは、建物ではなく“人”なんだよ。」

株式会社テレビ東京
制作局CP制作チーム

林 祐輔 プロデューサー

記念すべき1000回放送で、愛川欽也さんが言われました。街の根底には、必ず人がいる。たとえ様々な価値観に世の中が揺さぶられても、その街に住む人たちが自分たちの価値を再発見できれば、明日はまた少し楽しい一日になるでしょう。さらにはそこから、街の活力が生み出されていくと思うのです。

この考え方は、テレビ本来の役割であるともいえます。知らない情報を伝えること。そして日常の中の価値を再発見し、日々の生活をちょっとだけ楽しくするきっかけとなること——。「アド街」は、それを僕に改めて気付かせてくれた番組。制作に携わるスタッフ全員でこの考え方を愚直に実践し、番組をつくっているのです。

時代とともにゆっくり動き「変わらない」アド街

「アド街」の強さは、番組づくりの軸がぶれず「変わらないこと」だと思います。とはいえ時代は移り変わっていくもの。全く変わらなければ、古くなってしまおうでしょう。そんな中で「アド街」は、時代とともにゆっくり動き、相対的に「変わらないこと」をめざしています。だから、いつまでも古くならない、先にも行きすぎない。それが、長く愛され続ける理由ではないでしょうか。

「アド街」によって、その街に住む人が自分たちの価値を再発見してくれる。そして、番組を見た人が「どこの街だろう？ 明日行ってみようかな」と思ってくれたらうれしいですね。誰しもの明日が少しでも変わるとような番組づくりを、これからも続けていきたい。井ノ原新宣部長とともに、本気で2000回放送をめざしていきます！

初代プロデューサー

“地域密着系都市型エンタテインメント” 少しスノッブで洒落の効いた視点で その街のCMを創る！！

初収録録は代官山と西麻布。渋谷や新宿から始めなかったところがアド街らしさだと思います。オープニングCGやセット、取材の切り口もオトナでスノッブな感じで統一しました。「若い人は少し背伸びをしてオトナの世界を覗ぎに来たいんですよ」と言ったハウフルスの代表取締役で演出家の菅原正豊さんの言葉が忘れられません。スタート当初は視聴率で苦勞して何度もマイナーチェンジを試みましたが、根本的な番組ポリシーは一切変わっていません。愛川さんは旅立たれましたが、現在のメンバーの皆さんの手で「アド街」は育っていくことでしょう。私にとって「アド街」は仕事人生の大きなワンピース。生まれた時から知っている甥っ子みたくこれからの成長が楽しみです。



株式会社テレビ東京
上席執行役員
制作局総統プロデューサー
小川 治

2代目プロデューサー

変わらない良さがある 知的エンタテインメント番組！！

番組スタイルは大きく変えない。でも、微妙に手を入れながら常に時代に合わせてアップデートしていくこと。これが、細く長く続いていく長寿番組「アド街」制作の極意だと思います。とはいえ時には刺激も必要なので、2006年12月の「旬の温泉BEST30」は、群馬県の四万温泉から生放送。レギュラー出演者全員が集い、旅館の宴会場から中継しました。

思い出深いのは、何といても愛川さんと過ごした時間。収録の合間にうかがった若い頃のお話は非常に勉強になりました。たくさんの夢を語られ、後にすべて実現されたパワーには本当に驚かされました。



株式会社テレビ東京
制作局CP制作チーム
チーフ・プロデューサー
深谷 守

宣伝担当

質の高いVTRとスタジオの 雰囲気のがさが「アド街」らしさ！！

視聴者の皆さんに長く広く知られている「アド街」は、宣伝担当にとって非常にありがたい番組です。特に用事がなければ絶対に訪れないような“シブい街”を取り上げる回が面白いですね。最近、ギネス世界記録の認定や1000回スペシャルなど節目のイベントが多く、愛川さんには取材対応にも精力的にご協力いただきました。「仮にテレビ界にさよならしちゃってもさ、自分で感動しちゃうね、おれはおれに。お前よくやったじゃないかと」というその時のお言葉が、とても印象に残っています。

1995年4月入社私の私にとって、同時にスタートした「アド街」には同期のような親しみを感じています。仕事を通じて関わりながら、時代とともにさりげなく進化してきたその姿を見習いたいと思います。



株式会社テレビ東京
広報局宣伝部
宮本 聖子

出沒！ アド街ック天国 Admatic

毎週土曜
夜9時放送

今後の出沒予定の街

- 京急 青物横丁
- 十条銀座
- 横浜 関内
- 木更津
- 平塚

次は、あなたの街にも出沒するかも!?
ご期待ください。